

伊勢志摩への学生団体旅行誘致

学生数は30%増の10万6900人

伊勢志摩学生団体誘致委員会(学誘委)はこのほど、「21年度学生団体旅行誘致実績調査」の結果を発表した。学校数で前年比22.3%増の181校、学生数で29.9%増の10万6940人だった。

学誘委 21年度調査

同委員会が9月に、最終的には10万人強となった。実施した調査では、18万人。学校の割合は、小学47%、中学校29%、高校24%、県外の割合は、全体の58.5%。全体的に52.9%増を記録。コロナ禍で減少していた高校など、三重県内26%、同県外74%がキャンセルとなり、最も減少したのは20年度とほぼ同水準だった。



伊勢志摩フェリー探検ツアー

コロナの影響で見込み下回る



伊勢志摩教育旅行モデルコース(表紙)

伊勢志摩教育旅行モデルコース(表紙)は、伊勢志摩観光局がまとめた。伊勢志摩観光局は、伊勢志摩観光局がまとめた。伊勢志摩観光局は、伊勢志摩観光局がまとめた。伊勢志摩観光局は、伊勢志摩観光局がまとめた。

5人以上乗れるタクシー 教育旅行での利用を提案

長野県観光機構は、5人以上乗れるタクシーを提案している。長野県観光機構は、5人以上乗れるタクシーを提案している。長野県観光機構は、5人以上乗れるタクシーを提案している。



ジャンボタクシー

経験と教訓を後世に

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター。神戸市にある「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」は、46の衝撃(17シナタ)を再現している。この施設は、震災の経験と教訓を後世に伝えるために設立された。



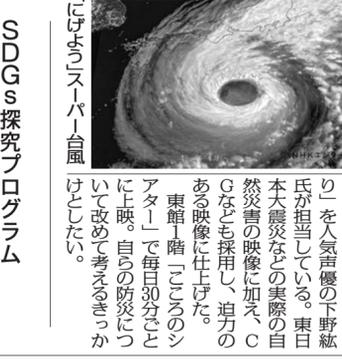
西3階「震災資料展示」



東3階「ミッションルーム(住居)」

SDGs 探究プログラム。福島県が全38本造成。SDGs 探究プログラムは、環境の変化や持続可能な開発目標(SDGs)について学ぶためのプログラムである。

新感覚グランピング施設で「不便を楽しみ、全力で遊ぶ。」 GLAMPING VILLA HANZ KAWAGUCHIKO. 観光客が楽しむための施設を紹介している。



「にげよう」スーパー台風

自然学習の提案強化。長野県観光機構は、全国の中学校に向けて自然学習の提案を強化している。自然学習は、環境教育の重要な要素である。

生徒達にちよと贅沢な大人の自然体験を。Glamping Villa Hanz Kawaguchiko. 自然体験を満喫するための施設を紹介している。

自然学習の提案強化。長野県観光機構は、全国の中学校に向けて自然学習の提案を強化している。自然学習は、環境教育の重要な要素である。

生徒達にちよと贅沢な大人の自然体験を。Glamping Villa Hanz Kawaguchiko. 自然体験を満喫するための施設を紹介している。